

# 小学校第6学年 国語科 学習指導案

## 1 単元名

感動の中心をとらえよう「海のいのち」（東京書籍）

## 2 単元について

### (1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領「C 読むこと」の目標（3）「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる」ことを受け、「海のいのち」を読んで感じた魅力を伝える推薦カードにまとめることを目的とした単元である。

本教材は、物語の構成がはっきりしており、直接的に心情を描写した叙述が少なく、会話文や動作の描写、情景描写などから内容を読み取っていくことに適している。推薦カードにまとめるためには、物語が自分に訴えかけてくるメッセージは何か、よさは何か理解する必要がある。そのためには、構成や表現に着目して読むことを通して作品のよさを捉えることが必要である。

これらのことから、本単元において構成や表現に着目して読み、自分が捉えた作品のよさを考えることはすべての学びの基本となる言葉の力の獲得へとつながり、未来の創り手となる「豊かな学び」の創造につながるものであると捉える。

### (2) 系統観

第5学年（10月）	第6学年（6月）	第6学年（10月） 本時	第6学年（12月）
注文の多い料理店 「読むこと」	風切るつばさ 「読むこと」エ	海のいのち 「読むこと」エ、オ	ヒロシマのうた 「読むこと」イ、エ、カ

### (3) 児童観

○平成29年度全国学力・学習状況調査の結果から、国語科のA問題ではすべての観点において県平均を上回っていた。また、B問題では「話す・聞く能力」「書く能力」は県平均を上回っていたものの、「国語への関心・意欲・態度」「読む能力」の観点が下回っており、特に「読む能力」の正答率が、県平均より数ポイント低かった。

○平成29年度全国学力・学習状況調査小学校国語B3「読むこと」エに関する問題の小問三については、県平均より数ポイント低く、「物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる」ことに関して課題が見られた。

○事前アンケートから、学校生活や学習を通して、自分自身が成長したと感じている児童が多いものの、周りの人（先生や家族、友だちなど）にそれを認められているという実感が伴っていないということが分かった。

### (4) 指導観

○作品の魅力を紹介文にまとめ、伝え合うという目的意識を明確にすることによって、主体的に学ぶことができるようにする。

○推薦文を書くために、作品の魅力を見つけるポイントを明確に示し、それが読みの手がかりとなるように工夫する。

○単元の導入時に推薦カードを書く活動を体験する場面を設けることで、児童が言語活動の遂行に対する課題意識を持てるようにする。

#### 研究の視点1

「見方・考え方」に着目した問いの工夫

①筆者の意図や表現の効果についての問いを設定することで、言葉による見方・考え方を働かせて読むことができるようにする。

②言葉への着目・焦点化を行うことで、叙述に基づいて考えを出し合うことができるようにする。

#### 研究の視点2

学びを実感する  
振り返りの工夫

③ノートのとめ方を示し、最初の読みと比べて、読みが広がったり深まったりしたことが分かるようにする。

④学習内容だけでなく、国語科の資質・能力についても振り返らせることで、「何ができるようになったか」を意識できるようにする。

3 単元の目標と評価規準（参考：国立教育政策研究所作成「評価規準の設定例」）

単元の目標	「海のいのち」を読み，登場人物の相互関係や場面の描写をとらえ，優れた叙述について自分の考えをまとめ，伝え合いながら，さらに自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	
国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
①作品の魅力を見つけるために，内容や要旨をとらえ，自分の考えを明確にしながら文章を読もうとしている。	①物語の特徴を把握して推薦するために，登場人物の相互関係から人物像や役割をとらえている。（エ） ②場面の展開に沿って読み，感動やユーモア，安らぎなどを生み出す優れた叙述に着目しながら，作品を推薦するために自分の考えをまとめている。（エ） ③推薦の文章を読み合い，感じたことや考えたことがどのように共通していたり相違したりしているのかを明らかにし，自分の考えを広げたり深めたりしている。（オ）	①文章を特徴づける語句に気づき，語句と語句との関係を理解して読んでいる（イ(オ)） ②比喩やユーモア，省略，倒置，対句など，文章に表れる表現の工夫に気づき，文や文章を読んでいる。

4 指導・評価の計画（10時間取扱い 本時7/10）

単元を貫く問い：「海のいのち」の作品の魅力を推薦カードにまとめ，伝え合おう。

次	時	学習活動	評価及び研究の視点
一	2	1 物語を通読して作品の魅力についての推薦カードを書き，学習課題について考える。 2 物語の構成や内容を確認する。	【関心・意欲・態度】①：ノート 【研究の視点1】 ①筆者の意図や表現の効果についての作品の魅力を推薦文にまとめ，友達と伝え合うという目的・相手意識を明確にする
二	6 (本時5/6)	3 父の人物像から，太一の思いを読む。 4 与吉じいさの人物像から太一の思いを読む。 5 母の言葉から太一の思いを読む。 6 クエに対する太一の思いについて話し合う。 7 山場での太一の心情の変化について話し合う。 8 その後の太一の思いを読む。	【読む能力】①②：ノート，学習シート 【研究の視点1】 ①筆者の意図や表現の効果についての問いを設定することで，言葉による見方・考え方が働くようにする。 ②着目する言葉を示すことで，課題を焦点化する。 【研究の視点2】 ③考えを比較することで，お互いの考えのよさに気付けるようにする。
三	2	9 作品の魅力を伝える推薦文を書く。 10 推薦文を紹介し合い，学習のまとめをする。	【読む能力】②③：ワークシート 【研究の視点2】 ④学習内容だけでなく，資質・能力についても振り返らせる。

5 本時の学習

(1) 目標

山場の場面だけに書かれた太一の表情について考えることを通して、心情の変化を読むことができる。

(2) 展開

過程	学 習 活 動	指導上の留意点及び評価	備考
導入 5分	1 本時の目標（めあて）を確認する。  学習目標（めあて） <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">山場の場面の太一の心情について話し合おう</div>	○前時の学習を振り返らせ、本時の学習内容について見通しを持たせる。	掲示用教材文
展開 35分	2 表情の言葉に着目する。  3 課題について話し合う。  <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">[本時の課題] どうして太一はこんなに表情が変わっているのだろう。</div>	<b>徹底指導</b> （ポイント） ○教材提示の工夫を行う。 「泣きそうになりながら」「ふっとほほえみ」「笑顔を作った」のそれぞれの言葉が表す、一般的な意味を確かめることで、心情の変化に気付くヒントとなるようにする。	カード
	(1) 自分なりの考えを持つ。  (2) 互いの考えを交流する。 (3人組→全体)  【言語活動】（設定の意図） 推薦カードにまとめるために、表情から分かる心情について話し合い、考えが深められるようにする。	<b>【研究の視点1】</b> ①筆者の意図や表現の効果についての問いを設定することで、言葉による見方・考え方が働くようにする。 <b>能動型学習</b> （ポイント） 相互の考えを出し合い、相手の考えと似ているところや違うところをさがすという、話し合いの目的を明確に示す。  <b>評価：思考・判断・表現（ノート・観察）</b> <b>B基準</b> 叙述に基づき、太一が悩み苦しみなながらも「海のいのち」を守ることの大切さに改めて気付いていく心情の変化を書いている。 <b>A基準</b> B基準に加え、太一の成長や前後の場面から読み取れることも根拠にして読み取っている。 〈B基準に達していない児童（生徒）への手立て〉 ○表情が表す意味を確認させたり、自分に置き換えて考えさせたりすることで、考えを引き出すようにする。	
整理 5分	4 学習したことをまとめ、振り返る。	○振り返りの視点を示し、次時への意欲を高める。	